

経営管理学修士（MBA）の ダブルディグリープログラムを経験して



本学と中京大学ビジネスイノベーション研究科MBAコースとのダブルディグリープログラムを利用して、本年3月19日に経営管理学修士（MBA）を取得することができました。私は2014年4月に本学薬学博士課程に入学し、さらに2015年4月より中京大学に入学し、中京大学においても学びの機会を得ることができました。はじめは慣れない環境に戸惑うことも多く、常に余裕のない状態でした。しかしながら、徐々に環境にも慣れ、社会人の同期の方々とも仲良くしていただき、非常に有意義な日々を過ごすことができました。同期の方々はずでに会社において経営を実際にされている方や管理職についておられる方、年齢的には私の父よりも年上の方等、様々でした。私の行っていることをわかりやすく伝えることやその方が行っていることとお互い理解上で、時間が必要なこともありました。しかしながら、こういった経験を通して多くの方々と出会うことができ、見聞が広まりました。また実際に学んだことを所属する

研究室において、活かせる機会もあり、今まで以上に自分自身の幅が広がっていることが実感できました。

私のMBAのテーマとしては、本学で行っている研究内容を如何に臨床応用させるかについてMBAコースの視点から分析し、「アカデミア発の創薬に向けて」という内容で修士号を取得致しました。

岐阜薬科大学での大学院学生としての貴重な大学生活は、多くの方々に支えられ、過ごすことができているということを決して忘れず、感謝の気持ちを常に持ち、残りの学生生活を充実したものにしていきたいと思います。また、今回のダブルディグリープログラムは、本学成長支援助成金（チャレンジ助成金）を利用させて頂きました。

最後になりましたが、このような機会を与えていただきました本学学長 稲垣隆司先生、薬効解析学研究室 原英彰教授、同窓会の皆様重ねてお礼を申し上げるとともに、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

（博士課程4年 井上雄有輝）

